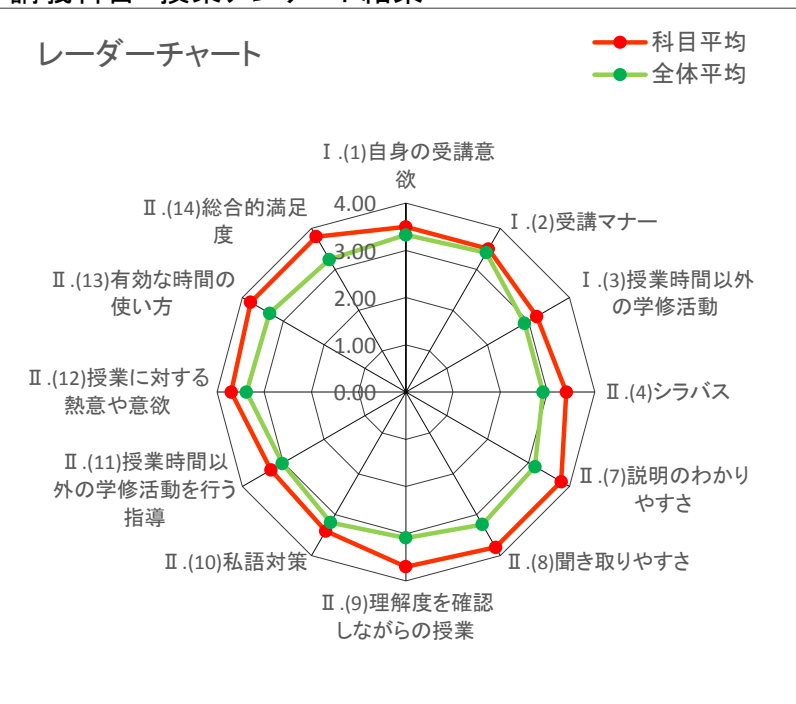
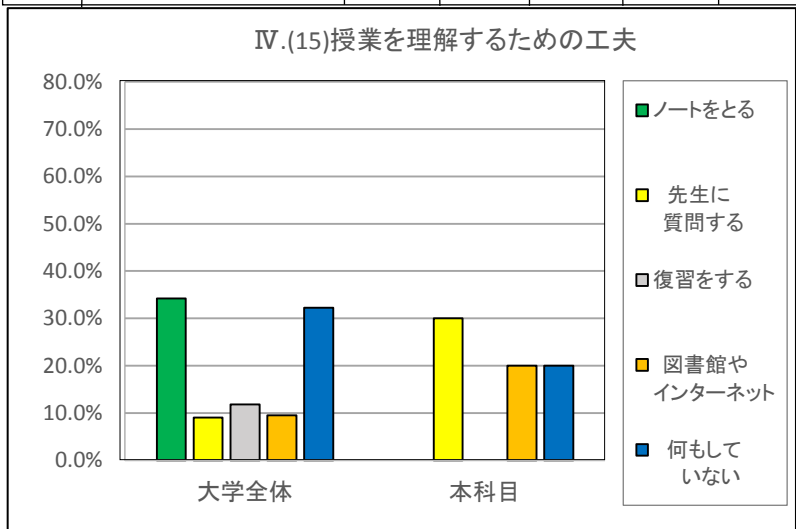


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	0.0%	30.0%	0.0%	20.0%	20.0%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	52302
科目名	スポーツ行政学
教員名	

①授業計画の達成度について

スポーツ行政学という科目名が示すとおり、スポーツ基本法の制定、東京オリンピックの招致成功、国立競技場の改修問題、スポーツ庁の設置など日々新しいニュースが流れた。従って、シラバス提案以後の課題について議論することが多くあった。受講学生の関心度も高く、新しい課題にも自分から取り組み発表し、自分の意見もしっかり発言し、他の受講学生に意見を求めかなり充実した議論の中心になる学生も数人いた。学習到達目標は、8割程度の学生は達成したと評価している。しかし、個人差は大きく、欠席が多く、ほとんど議論人に参加せず、発表が出来ず、過去に議論したテーマのレポートを提出した学生もいた。

②授業の進め方について

講義の10回は、教員側でテーマを定め(スポーツ行政の課題、文部省のスポーツ政策、スポーツ基本法、東京オリンピック招致失敗と成功の理由、桜ノ宮高校体罰問題と行政の取り組み、スポーツ庁の設置等を研究・議論)、残り5回を2~3人の受講生が自らの関心の課題をテーマに発表した。学生の発表には、まじめに議論に参加し、ほとんど私語もなく意見交流がなされた。例を挙げれば、ロシア陸上競技のドーピング・体罰をなくす課題に関する発表は、資料を多く明示し、深くこの問題について意見交流・議論・整理が出来たと思う。高く評価したい。私の言葉や説明、学生の発表は、講義調にならず、日常の会話形式で問いかけたので本音の意見を引き出せたと思っている。私自身も、費用をかけ歯列矯正を受けたので昨年より言葉は聞きやすくなったと理解しています。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

開講時から受講学生の顔と名前、所属クラブがはっきり認識できる受講生・人数だったので、非常に充実した授業が展開出来たと思っています。私の予想以上に、この授業の学生の評価も高く驚いています。評価の低かった学生が欠席していたため、アンケートに答えていないのが原因かもしれない。欠席がちの学生に興味関心を持たせ、授業に出席したら充実した時間が過ごせ、学ぶ喜びと、仲間と議論を交流する楽しさを知らせることに、今後も努力したい。授業は、受講生・教師の共同作業でつくられることを強く感じた。この授業の受講生に感謝したい。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.50	3.33
	I.(2)	3.50	3.41
	I.(3)	3.20	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.40	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.80	3.16
	II.(8)	3.80	3.24
	II.(9)	3.70	3.09
	II.(10)	3.40	3.19
	II.(11)	3.30	3.03
	II.(12)	3.70	3.38
	II.(13)	3.80	3.33
満足度	II.(14)	3.80	3.24

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.40	3.21
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.61	3.17
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.80	3.24
III.(14)		